

# 種智院大学 同窓会報

第36号 平成22年1月15日

種智院大学同窓会

〒612-8156

京都市伏見区向島西定請70 種智院大学内

TEL (075)604-5600 FAX (075)604-5610

e-mail info@kechien.net



## 平成21年度同窓会総会

### ○総会報告

平成21年度種智院大学同窓会総会が、平成21年7月25日(土)13時30分より種智院大学4階講義室401で開催された。

総会に先立ち、これまでの物故者を偲び般若心経、諸真言などを誦咒して慰霊法要を勤めた。

総会に入り、事務局から開会が宣言され、鷲尾遍隆同窓会長が挨拶をされ、続いて頼富本宏学長からご挨拶をいただいた。

議事に入って、議長に杉崎圓覚師を選出し、最初に議事の順番を変更し、同窓会奨学生に給付証の授与式があり、鷲尾会長より手渡され、一人ずつ謝辞が述べられた。

#### 【審議事項】

##### ①平成20年度事業報告

決算案が資料に基づき報告され、異議なく了承。

##### ②平成21年度事業計画と予算案が資料に沿って報告され、異議なく了承。

##### ③種智院大学への支援

この議案について、同窓会幹事で真言宗善通寺派宗務総長の菅智潤師(昭和47)から現状(平成21年7月25日現在)の報告があった。

種智院大学を経営する14本山が集まって協議している。洛南高校との法人分離は、その意義を高校側から説明してもらって、理事会で了承されれば分離の方向に進む。経営本山としては、基本的に大学を存続させる方向で再確認し、今後は大学を改善するための要望を出して行く。また、一般の人たちも含めた後援会組織を立ち上

げるようになった。同窓会の皆さんも、もっと大学に関心を持ってもらい、今後大学がいかにあるべきかを考えていただきたい。(要旨)

後援会について、頼富学長より説明があった。向島キャンパスを造成建築する際に24億円の借入れがあり、平成20年度までは年間約1億2千万円ずつ返済してきたが、今年度になり行き詰まった。法人を分離して、現金を得たとしてもまだ不足分が見込まれるので、同窓会を始め各方面に協力をお願いして後援会を立ち上げる。名称、趣旨等については今後原案を作成して、本山の協議会に諮る予定とのことだった。

##### ④その他は特になし。

#### 【協議事項】

##### ①会費の取り扱いについて

幹事会で継続協議。

##### ②その他は特になし。

#### 【報告事項】

##### ①同窓会特別事業『宿曜経』・占星法講習会について

実行委員会より申し込み状況等報告。

##### ②同窓会奨学金について

順序を変更し、総会の冒頭で実施。

##### ③役員人事

同窓会参与・高松龍暉師(昭和33)より、健康上の理由のため辞退の申し出があり、承認。

##### ④会員の受賞

兄玉義隆教授(賛助)が平成20年度の密教学芸賞を受賞

## ごあいさつ

種智院大学同窓会会長 鷺尾 遍隆



明けましておめでとうございます。種智院大学同窓会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、同窓会の運営、活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、先だっでご案内いたしました同窓会の特別事業『宿曜経』・宿曜占星法講習会につきましては、皆様のご協力により予想を大きく上回るお申し込みをいただき、大変感謝いたしております。

さて、皆様がご心配をしておられる大学の状況は、残念ながら芳しくはございません。洛南高校との法人分離に向けて手続きは着々と進んでおりますが、入学者は伸び悩み、大変厳しい状況が続いております。

同窓会では、先般の臨時総会で承認を受けておりました1千万円の種智院大学の学債購入を、大学の正式な依頼により昨年9月11日に実施いたしました。また、先日開催されました臨時幹事会におきましては、支援のための委員会の設置が決定しております。これらにより状況が一気に好転するというわけではございませんが、少しでも母校の役に立つことを願っております。

これら以外にも、私たち種智院大学で育った者として、同窓会として、様々な方法で母校を支援して参る所存でございます。今後も会員の皆様には何かとご協力をお願いすることもあろうかと存じますが、母校発展のため、何卒ご理解の上お力を賜りますようお願い申し上げます。

大学と同窓会は、鳥の両翼にもたとえられます。ここで同窓会が一丸となって母校を支えてゆこうではありませんか。

## ごあいさつ

種智院大学学長 頼富 本宏



新年おめでとうございます。旧年中は同窓会の皆様がたには大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

昨年は、末押し詰まってバングラデシュの「インド密教遺跡・遺品調査」行ってまいりましたが、平成21年は、種智院大学（とくに新制大学となって以降）始まって以来の経営的に大変な一年でした。もちろん通常の授業も順調に行われており、ここ2～3年、新入生の数が減ったとはいえ、綜芸祭や降誕会・常楽会の法会も行われているので、同窓生の皆様も安心していただきたいと思えます。

ただ、結果的に十数年前からの拡大路線を継承して行く時代情勢ではなく、また体力もないので、しばらくは隠忍自重の時代とならざるを得なくなりました。その間、平成21年春からの募集停止を避けるため京都の仏教系・非仏教系の大学や宗派の学長・理事長から援助の申し出もありましたが、結果的には、現在の大学グラウンドを洛南高校に譲渡しその対価と、関係本山からの支援金を、日本私立学校振興・共済事業団からの借入金の返済と経常運営費の不足に充てることになりました。

幸い、平成22年の4月から、宗門関係の宗派・本山から経営にも実績のある方を新学長として御迎えすることになりましたので、強力なリーダーシップを期待したいと思います。ここに2期8年の学長任期をひとまず終えるにあたりまして、とくに最後の2年に経営不安で御心配をおかけしましたことを御詫びするとともに、母校に対しての思いに改めて御礼申し上げます。

された。同窓会より記念品を贈呈しお祝いすることを承認。  
⑤その他報告事項は特になし。

総会に引き続き、同窓会特別事業宿曜占星法講習会講師もお願いしている、天台寺門宗本山布教師・金翅鳥院住職の羽田守快先生から「仏教と運命学」の記念講演をいただいた。

そして、マンダラ広場で記念撮影後、グランドプリン

スホテル京都ローズルームに移動し、鷺尾同窓会長のご挨拶の後、記念講演講師の羽田先生のご発声で乾杯し懇親会が和やかにおこなわれた。この中で、昨年度児玉教授が密教学芸賞を受賞されたので、遅まきながら同窓会から記念品を贈呈してお祝いに花を添えた。そしてそれぞれの懐旧談や大学の今後のことなどに話は尽きず、盛会のうちに開きになった。

## 平成20年度事業報告・決算諸表

### 平成20年度事業報告

- 事務局会議(第1回)  
平成20年8月5日(火)15時 種智院大学 (4名)
- 平成20年度種智院大学同窓会奨学金給付  
日時 平成20年6月16日(月) (4名)
- 記念事業実行委員会  
第6回 平成20年4月10日(火)14時 石山寺  
第7回 平成20年4月24日(木)17時 洗心寮  
第8回 平成20年5月12日(木)14時 大学  
第9回 平成20年7月4日(金)15時 ホテルグランヴィア京都
- 記念事業「結縁灌頂in石山寺」  
三摩耶戒 平成20年5月29日(木)14時 大本山石山寺 光堂道場  
結縁灌頂 平成20年5月30日(金)6月1日(日) 大本山石山寺 光堂道場

- 会計監査  
日時 平成20年7月23日(水)14時  
場所 種智院大学 第2会議室
- 幹事会  
日時 平成20年8月25日(月)11時  
場所 種智院大学 第1会議室
- 物故者慰霊法要  
日時 平成20年8月25日(月)13時30分  
場所 種智院大学 講義室401
- 総会  
日時 平成20年8月25日(月)13時40分  
場所 種智院大学 講義室401
- 記念講演  
日時 平成20年8月25日(月)15時00分  
場所 種智院大学 講義室401  
演題 「源氏物語」と「紫式部日記絵巻」  
講師 五島美術館 学芸部長 名見耶 明

- 懇親会  
日時 平成20年8月25日(金)17時30分  
場所 京都センチュリーホテル 瑞鳳の間
- 平成20年度 大阪支部総会・懇親会  
日時 平成20年9月6日(土)18時  
場所 すたんど割烹日本 (大阪市中央区)
- 会報発行  
34号 平成20年7月10日(木)
- 平成20年春学期 卒業証書・学位記授与式  
日時 平成20年9月18日(木)14時00分  
場所 種智院大学 第1会議室  
卒業記念品 腕輪念珠 (5名)

- 臨時幹事会  
日時 平成20年10月29日(水)11時  
場所 種智院大学 第1会議室
- 臨時幹事会  
日時 平成20年12月8日(月)14時  
場所 種智院大学 第1会議室
- 臨時幹事会  
日時 平成21年2月20日(金)14時  
場所 メルパルク京都 会議室4
- 臨時総会  
日時 平成21年3月4日(木)14時  
場所 キャンパスプラザ京都 第1会議室
- 平成20年度 第56回卒業証書・学位記授与式  
日時 平成21年3月14日(土)10時  
場所 種智院大学 講堂  
同窓会長賞 記念品 (2名)  
卒業記念品 腕輪念珠 (143名)

### 貸借対照表(平成21年03月31日現在)

科目		金額	科目		金額
I 資産の部		0	II 負債の部		117,000
現金			未払金		
預金	27,423,698		負債合計		117,000
資産合計	27,423,698				
			III 正味財産の部		
			前期繰越正味財産	27,529,597	
			奨学事業積立金	4,638,655	
			当期正味財産増加額	△4,861,554	
			正味財産合計	27,306,698	
		27,423,698			27,423,698

### 収支計算書

自、平成20年04月01日 至、平成21年03月31日

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
会費収入	1,830,000	1,863,000	33,000	3万×62名、賛助会費含む @8,000×22名
懇親会費収入	360,000	176,000	△184,000	
受取利息	20,000	29,188	9,188	
奨学事業収入	1,500,000	1,860,430	360,430	
記念事業収入	9,267,441	8,314,841	△952,600	
特別事業収入	1,500,000	0	△1,500,000	@30,000×50名
雑収入	25,000	0	△25,000	
当期収入合計(A)	14,502,441	12,243,459	△2,258,982	
前期繰越収支差額	27,529,597	27,529,597	0	
収入合計(B)	42,032,038	39,773,056	△2,258,982	
II 支出の部				
1. 事業費	[ 16,556,755 ]	[ 14,096,422 ]	[ △2,460,333 ]	
総会事業費	250,000	839,070	589,070	案内状印刷、送料を含む 会場費、料飲代、バス代等
懇親会支出	450,000	253,003	△196,997	会長賞、記念品代 ウェブサイトを運営費
卒業記念事業費	150,000	140,100	△9,900	
IT事業費	100,000	1,725	△98,275	
奨学事業支出	800,000	821,790	21,790	
記念事業支出	13,306,755	12,040,734	△1,266,021	結縁灌頂等
特別事業費	1,500,000	0	△1,500,000	
2. 管理費	[ 2,930,000 ]	[ 3,908,591 ]	[ 978,591 ]	
雑給手当	600,000	914,640	314,640	
会議費	150,000	89,543	△60,457	
旅費交通費	200,000	606,240	406,240	
印刷製本費	1,200,000	217,959	△982,041	
通信費	400,000	857,119	457,119	会報、各案内郵送、電話代等
消耗品費	50,000	111,522	61,522	
交際費	0	13,013	13,013	
事務委託費	50,000	50,000	0	事務代行手数料
業務委託費	110,000	105,000	△5,000	会員情報管理業務
支払手数料	20,000	1,995	△18,005	
庶務費	150,000	41,500	△108,500	
雑費	0	60	60	
3. 予備費	[ 500,000 ]	[ 0 ]	[ △500,000 ]	
予備費	500,000	0	△500,000	
当期支出合計(C)	19,986,755	17,105,013	△2,881,742	
当期収支差額(A)-(C)	△5,484,314	△4,861,554	622,760	
前期繰越収支差額(B)-(C)	22,045,283	22,668,043	622,760	

### 収支差額処分案

前期繰越収支差額	27,529,597
当期収支差額	△4,861,554
計	22,668,043円

上記金額を次の通り処分する。

1. 奨学事業積立金 1,038,640円
2. 次期繰越収支差額 21,629,403円

### 平成20年度会計監査報告書

平成20年度決算諸表を別紙のとおり報告します。

平成21年7月8日  
種智院大学同窓会事務局 児玉義隆  
種智院大学同窓会事務局 内山仁空

別紙報告書に対し精査の結果、種智院大学同窓会の会計処理が、適正に執行されていることを認めます。

平成21年7月10日  
種智院大学同窓会 監査 児玉義隆  
種智院大学同窓会 監査 内山仁空

### 平成21年度種智院大学同窓会総会出席者

昭和23 加藤 義昇	昭和54 杉崎 圓覚	昭和59 森田 俊尚	平成12 福澤 隆雅	賛助 中村 幸子
昭和23 手塚 利貞	昭和54 鷲尾 遍隆	昭和60 吉田 大治	平成14 海老原真紀	賛助 頼富 本宏
昭和36 大塚 聖純	昭和55 上田 雲宣	平成02 大塚 知行	平成14 後藤亜耶乃	学生 茨山 あや
昭和45 嶋 裕海	昭和55 長谷 法寿	平成02 津津 祐照	平成18 浦田 純子	学生 宮成 美帆
昭和47 菅 智潤	昭和56 宮崎 快亮	平成08 湯通堂法姫	平成18 峯岸 澄榮	学生 和田 智規
昭和48 村岸 定光	昭和57 宇垣 泰明	平成09 川原 一修	平成20 杉村 由美	
昭和51 幡山 寛念	昭和57 里 笑子	平成09 鈴木弘昭和	平成21 岡林 明生	
昭和54 上原 雅明	昭和57 新垣かほる	平成12 黒木 隆英	賛助 明石 隆行	
昭和54 内山 仁空	昭和59 橋本江理子	平成12 田中 富三	賛助 児玉 義隆	

# 平成21年度事業計画・予算書

## 平成21年度事業計画

- 1. 臨時幹事会  
日 時 平成21年 5月 1日(金)14時  
場 所 種智院大学 第1会議室
- 1. 平成21年度種智院大学同窓会奨学金給付  
日 時 平成21年 6月10日(水) (4名)
- 1. 会計監査  
日 時 平成21年 7月10日(金)10時30分  
場 所 種智院大学 研究室420 (同窓会事務局)
- 1. 幹事会  
日 時 平成21年 7月25日(土)11時  
場 所 種智院大学 第1会議室
- 1. 物故者慰霊法要  
日 時 平成21年 7月25日(土)13時30分  
場 所 種智院大学 講義室401
- 1. 総会  
日 時 平成21年 7月25日(土)13時40分  
場 所 種智院大学 講義室401
- 1. 記念講演  
日 時 平成21年 7月25日(土)15時00分  
場 所 種智院大学 講義室204  
演 題 仏教と運命学  
講 師 天台寺門宗本山布教師・金翅鳥院住職 羽田 守快 先生
- 1. 懇親会  
日 時 平成21年 7月25日(土)18時00分  
場 所 グランドプリンスホテル京都 ローズルーム
- 1. 平成21年度 大阪支部総会・懇親会  
日 時 平成21年 7月 7日(火)18時  
場 所 すたんど割烹日本 (大阪市中央区)
- 1. 平成21年春学期 卒業証書・学位記授与式  
日 時 平成21年 9月17日(木)14時00分  
場 所 種智院大学 第1会議室  
卒業記念品 腕輪念珠 (6名) \*
- 1. 会報発行  
34号 平成21年 5月29日(金)  
35号 平成21年11月ごろ \*
- 1. 特別事業  
『宿曜経』講習会  
日 時 平成21年 8月25日(火)～26日(水)  
場 所 種智院大学 講義室306  
講 師 種智院大学 学長 頼富 本宏 先生  
宿曜占星法講習会 (第1回)  
日 時 平成21年 2月中～下旬中 2日  
場 所 種智院大学 講義室306  
講 師 天台寺門宗本山布教師・金翅鳥院住職 羽田 守快 先生
- 1. 平成21年度 第56回卒業証書・学位記授与式  
日 時 平成22年 3月15日(月)10時  
場 所 種智院大学 講堂  
同窓会長賞 記念品 (2名)  
卒業記念品 腕輪念珠 (139名) \*

\*は予定

## 収支予算書

自、平成21年04月01日 至、平成21年03月31日

種智院大学同窓会  
(単位、円)

科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考
<b>I 収入の部</b>				
会費収入	1,530,000	1,830,000	△ 300,000	@30,000×51名
懇親会費収入	360,000	360,000	0	@8,000×45名
受取利息	20,000	20,000	0	
奨学事業収入	1,505,000	1,500,000	5,000	
特別事業収入	5,000,000	1,500,000	3,500,000	
雑収入	25,000	25,000	0	
当期収入合計(A)	8,440,000	5,235,000	3,205,000	
前期繰越収支差額	22,668,043	27,529,597	△ 4,861,554	
収入合計(B)	31,108,043	32,764,597	△ 1,656,554	
<b>II 支出の部</b>				
<b>1. 事業費</b>				
総会事業費	850,000	250,000	600,000	総会議費用(案内印刷費及び送料含む)
懇親会支出	450,000	450,000	0	会場費、料飲代、バス代等
卒業記念事業費	150,000	150,000	0	会長賞、記念品代
IT事業費	100,000	100,000	0	ウェブサイト運営費
奨学事業支出	820,000	800,000	20,000	
特別事業支出	1,500,000	1,500,000	0	
<b>2. 管理費</b>				
人件費	600,000	600,000	0	
会議費	150,000	150,000	0	会員情報管理業務
旅費交通費	200,000	200,000	0	
印刷製本費	600,000	1,200,000	△ 600,000	
通信費	400,000	400,000	0	会報他
消耗品費	50,000	50,000	0	各案内状郵送費等
交際費	0	0	0	
事務委託費	50,000	50,000	0	事務代行手数料
業務委託費	110,000	110,000	0	
支払手数料	20,000	20,000	0	
慶弔費	150,000	150,000	0	
雑費	0	0	0	
3. 予備費	500,000	500,000	0	
予備費	500,000	500,000	0	
当期支出合計(C)	6,700,000	6,680,000	20,000	
当期収支差額(A)-(C)	1,740,000	△ 1,445,000	3,185,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	24,408,043	26,084,597	△ 1,676,554	

### ○種智院大学支援のため、同窓会で学園債券を購入

種智院大学同窓会では、平成21年9月11日、学校法人真言宗京都学園の債券を1千万円分購入しました。これは、さる3月4日に開催された同窓会臨時総会で承認されたもので、実施時期は執行部に一任されておりました。種智院大学より、9月に借入金の支払いがあり、どうしても必要なので入金をお願いしたいと依頼がありましたので、執行部で検討し了承のうえ、購入しました。

この原資は、会員の皆さまからお預かりしている会費が本になっているので、同窓会としては、今後種智院大学及び真言宗京都学園の動向を注意深く見守り、必要に応じて発言してゆく所存です。もし、会員各位のうちで、種智院大学に宛ててご意見がおありでしたら事務局宛にお手紙、ファクス、電子メールなどでお寄せいただければと存じます。

いただいたご意見は大学・学園当局に提出し、また回答を求めて行きたいと考えております。

## ○大学の動向

平成21年11月4日(水)15時よりキャンパスプラザ京都第1会議室において臨時幹事会が開催されました。この中で、大学及び学校法人真言宗京都学園の動向が報告されましたので抜粋してお知らせします。

### ◇報告◇

真言宗京都学園は、学校法人としては黒字経営である。ただ、大学部門の入学者数が伸び悩んでいて、赤字になっている。これをうけて、7月の理事会・評議員会で、新たに学校法人を設立し洛南高校の設置者を変更する方向ですすめることが承認された。これをうけて高校は、新学校法人の設立準備委員会を発足させた。

しかし、洛南高校の設置者変更は、大学が独立して存続できるような事業計画が示されなければ、文部科学省および京都府から認可されない可能性が高い。

法人の分離は、必ずしも種智院大学にとって悪いことばかりではない。洛南高校が離れることで、各本山とも本腰を入れて、大学の経営に協力できるようになるところもある。

同窓会としては、種智院大学の経営が非常に困難であると突然聞かされたので、学園全体が黒字であるにもかかわらず、大学が存続できなくなるような状態になるのは看過できないので法人分離に反対の姿勢をとってきたが、状況も変わってきているので一応受け入れることにしたい。分離に際してどのような条件で合意するかということになってくるが、展開次第で十分有利にできると思われる。  
[以上、文責事務局]

## ○同窓会幹事会の下に委員会を設置し、種智院大学を支援

平成21年11月4日(水)の臨時幹事会で、同窓会の幹事会の下部組織として、大学支援のための委員会として「母校支援委員会」(仮称)を設けることが決定した。

この委員会は、大学支援のための諸案件を審議し、幹事会、また総会に諮り決定したり、諸々の承認された内容を具体的に実行してゆくための実行委員会である。

この委員会の委員長は、杉崎副会長が担当することとし、構成員の人は今後検討することとなったが、委員長は杉崎副会長が勤めることになった。

## ○『宿曜経』講習会ならびに宿曜占星法講習会申し込み状況

8月25～26日に頼富本宏学長による『宿曜経』の講習会があり、220名が受講した。

講習会全体では、約250名の申し込みがあり、講義室もこれ以上は入りきれない状況になっている。

次回からは占星法講習会は、天台寺門宗本山山布教師・金翅鳥院住職羽田守快師に講義していただく。日程は以下の通り

第1回 日時 平成22年3月1日(月)～2日(火)

会場 種智院大学講義室306

第2回 日時 平成22年5月下旬～6月上旬

会場 キャンパスプラザ京都 (予定)

※第2回については会場の事情により詳細未定

## ○新学長 村主康端 大本山中山寺長老に決定

平成21年12月17日開催の学校法人真言宗京都学園理事会で、頼富本宏学長の任期が平成22年3月31日で満了するのに伴い、大本山中山寺長老 村主康端大僧正が新学長に選任された。  
(詳細は次号)

## 会員消息

### お慶び 心からお慶び申し上げます

宮津 智光様 (平成9年)  
平成21年1月3日 御結婚

市塚 明人様 (平成17年)  
彩花様 (旧姓 藤田 平成17年)  
平成21年6月20日 御結婚

色摩 真了様 (平成15年)  
平成21年10月12日 御結婚

田中 密敬様 (平成10年)  
平成21年12月12日 御結婚

勝田 正光様 (平成12年)  
平成21年12月12日 御結婚

野間口将智様 (平成10年)  
平成21年12月26日 御結婚

### お悔やみ 謹んでお悔やみ申し上げます

平木 マキ様 (平成6年)  
平成21年11月 御逝去

## 同窓会員紹介

今回は、種智院大学ご卒業後、不動産業の方面で活躍されている柴田和昌氏をご紹介します。



### 柴田和昌氏略歴

平成3年3月、大学卒業

平成3年4月（入社）～平成7年12月（退職）

京都市伏見区内にある不動産および建築業者入社

分譲住宅の販売・建築・賃貸業務を経験

平成8年1月（入社）～平成14年8月（退職）

大手不動産仲介業者に入社し、不動産売買仲介業務を行う。

平成14年9月（入社）～平成20年12月（退職）

京都市伏見区内にある不動産業者に入社、分譲住宅や売買仲介業務を行う。

平成20年12月～現在に至る

あゆみ不動産販売株式会社設立

### ○現在のお仕事を志されたきっかけはなんでしょう？

学生時代にお付き合いをさせていただいた、信用金庫の営業さんに就職相談をしましたところ、取引先に老舗の不動産業者があるので一度面接を受けてみないかとのきっかけで不動産業界のお仕事をする事となりました。

### ○種智院大学に入学されて、そのころの様子はいかがでしたか？

入学時から泉涌寺山内にある今熊野観音寺様の徒弟として、住み込みで修行させていただきながら、大学に通っていました。

### ○どんな学生時代でしたか？

大学時代は恥ずかしながら勉学に励んだという印象はありませんでしたが、ソフトボール部に入部するなど比較的楽しく過ごしたと記憶しております。

### ○お仕事をなさる上で、最も苦心されるところはどんなところでしたか？

不動産業界は始めて携わることでしたので、宅建業法・税法・法令上の制限などの業務知識を覚えるまでに苦心しましたが、営業をおこなってゆく上では、比較的楽しく前向きに進んできたと思います。お客様に喜んでいただくおもてなし、接客など振り返ると、学生時代に修行をさせていただいた寺院での経験が大きかったと感じています。

### ○今までお仕事をされたうちで、もっとも印象深かったことはなんでしょう？

独立開業して始めて、一戸建をご購入いただいたお客様とのできごとです。ご夫婦とお子様3人のご家族です。これまでたくさんご苦労されておられましたが、念願の一戸建を購入。お引渡しの時にご夫婦から子供達3人からの手紙ですとわたされました。自分たちの部屋が持てたことより「家族全員で団欒できる食卓スペースなどを想像するとワクワクします。本当にありがとうございます」のお手紙でした。お客様の子供さんからいただいた感謝のお手紙は始めてで、少しでもご家族の幸せに貢献できたことが喜びでしたし、特に印象に残っています。

### ○今後の抱負をお願いします。

私の会社屋号は「あゆみ不動産販売株」です。あゆみとは娘の名前にちなんで名付けたことともありますが、「歩む」という気持ちもあります。

私の家族が幸せに生活していく為には、お客様の幸せに貢献できることが絶対に必要です。その為にも、人間的・知識的にも日々努力して向上していきます。

### ○種智院大学同窓会へのコメント

同窓会の行事にはこれまで参加したことがありませんでしたが、寺院関係者はもとより異業種の方々が気軽に参加できるような会であってほしいと願っています。



同窓会報では、各方面で活躍されている会員の方々の一部をご紹介します。お近くの会員で特に活躍の方がいらっしゃいましたらご一報いただければ幸いです。

## 第25回綜藝祭（学園祭）が開催されました

種智院大学学生課 秋山英之

菊薫る秋、山々の紅葉も一段と深まった11月15日(日)、良好な天候のもと本学の学園祭「第25回綜藝祭」が『手toて～絆～』をテーマとして開催されました。

実行委員の学生が中心となり、自分達の手と絆で企画・準備から当日の運営まで作り上げていく経験は、後々の貴重な財産としても個々人の身につについていくものであると感じます。

今回は実行委員の学生数が極端に少ない状態でのスタートとなったため、当初は心配や不安が伴うものでしたが、開催日が迫るにつれてサポートメンバーの学生達とも連携し、懸命に活動に取り組む体制がしっかり構築されました。

準備段階での活動は、担当する学生が少ないほど、1人に掛かる労力や責任が増大するため、途中でめげそうになったり仲間割れしそうになったりする場面もありました。

私も学生課として指導にあたりましたが、学生達の成長と学園祭の成功のため、学生の目線にたって共に活動に参加して励ましていくことで、手と手の絆を感じ、小さな大学の手作りな学園祭に向かっていく学生の姿に誇らしさを覚えました。

各種企画についても、その中にテーマ（絆）や人のつながりを見い出せるもので実施することに努め、メンバーの友人・知人・紹介によるものや、京都の学生に関するものを中心に調整しました。

いくつか紹介しますと…

【京炎そでふれ！（演舞）】京都の各大学・短期大学の学生が参加する京都学生祭典から生まれた活気のある踊りで、京都文教大学・龍谷大学・立命館大学などの学生の皆さんが披露してくれました。

【ENICO（音楽）】私の知人であり応援しているシンガーソングライターで、関西一円で活躍中です。会場が一体となれる心地よい素敵な演奏や、学園祭に向けての新作も披露してくれました。



【こっぺばんバイオレンス（音楽）】本学の学生（1年次生）が所属するバンドで、彼とその演奏は美技を披露してくれました。

【ラブカ（音楽）】本学の軽音楽部（音智会）のバンドで、当日に向けて猛練習に励み、真剣で酒脱な演奏を披露してくれました。

他、吉本お笑いライブや模擬店、ステージや教室の各種企画も行われ、エンディングのビンゴ大会には地域の方々が大勢お越しくださいました。

盛況のもと、成功させることができた学生達は、ホッとした気持ちと達成感から、目には涙を浮かべており、大切な思い出として刻まれたことと思います。

節目の回を迎えた綜藝祭の成功はもちろんですが、学生一人ひとりが主体となって行う企画・準備・運営の活動を通して、より多くのことを学び、身につけて成長して欲しいと願い、見守りました。

懸命に活動に励んだメンバーへの労いと、ご理解とご助力をいただいた皆様への深謝の意を強く感じられる学園祭になったと振り返ります。

### ◎種智院大学仏教学科・社会福祉学科の公開講座と展示

種智院大学では、仏教・社会福祉の各学科主催で、公開講座と展示などを開催する。いずれも、会場は種智院大学講堂（体育館）。事前予約不要、入場無料、一般来場歓迎。

#### ○ 第9回種智院大学学生仏画展

日時 平成22年2月22日(月)～23日(火)10時～16時

内容 種子敷曼荼羅、仏画、写経、扇面等

公開講座 22日10時

演題 「仏画の心と描き方」

講師 中村幸真教授

写仏講座Ⅰ 22日13時～16時

テーマ 「自心仏を描く」

指導 児玉義隆教授・中村幸真教授他

写仏講座Ⅱ 23日10時～12時

テーマ 「守り本尊を描く」

指導 中村幸真教授他

#### ○ 福祉に関する紹介・相談と活動展示

日時 平成22年2月22日(月)～23日(火)10時～15時

内容 社会福祉学科の教員・学生による活動紹介・体験ほか

##### (1)展示・体験コーナー

①ボランティアサークルの活動実践紹介

②社会福祉学科の授業・活動紹介

③ユニバーサルグッズの展示と紹介・体験

(2)介護保険・福祉制度に関する紹介コーナー（「介護保険制度」「成年後見制度」「日常生活利活用支援事業」「障害者自立支援法」ほか）

(3)「伏見ふれあい工房」によるお菓子の販売

(4)休憩コーナー

## 大学入学試験のご案内

近年の18歳人口の減少に伴い種智院大学でも、受験生、学生数の減少が大きな課題となっております。AO入試や、社会人入試、新入生奨学金給付生選抜、長期履修学生等の制度を導入し努力をしていますが厳しい状況が続いています。

今後同窓会としても受験生、入学者増にむけて支援していきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

### ■平成22年度種智院大学入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表	手続締切
一般入試 1	1/5(火)～1/19(火)	1/24(日)	1/30(土)	2/15(月)
宗門関係者入試 4				
社会人 4				
編入学 4				
一般入試 2	2/2(火)～2/16(火)	2/20(土)	2/27(土)	3/12(金)
宗門関係者入試 5				
社会人 5				
編入学 5				
一般入試 3A・3B	2/22(月)～3/8(月)	3/10(水)	3/13(土)	3/18(木)
宗門関係者入試 6				
社会人 6				
編入学 6				
センター試験利用 A	1/6(水)～2/3(水)	個別試験なし	2/13(土)	3/1(月)
センター試験利用 B	2/22(月)～3/8(月)		3/13(土)	3/18(木)

### ■入試トピックス

教科型入試の成績優秀者には入学後奨学金を給付します。

一般入試2、3Aとセンター試験利用で、奨学金給付生を選抜します。成績優秀者には入学後に奨学金を給付します。

何回受験しても受験料は同じ3万円です。

本学が実施する入試のうち、あなたの希望する入試パターンや日程にあわせて受験してください。もし、不合格になっても次の試験にトライしようと思えば、初回の受験料だけで何度でも受験可能です(指定校・専願の合格者以外)。また、高等学校で作成していただく調査書も、最初に提出したもので再受験できます。

センター試験利用入試の出願回数は2回。

センター試験利用入試の出願回数は2回あります。受験料(検定料)は受験ごとに14,000円となります。センター試験利用入試も奨学金給付生選考を兼ねていますから、自宅に近い受験会場で受験して奨学金を給付されるチャンスがあります。

兄弟姉妹の学費減免制度のご案内

生計を同じくする兄弟姉妹が本学に入学された場合、先に入学されている兄弟姉妹の授業料を半額程度減免します。

## 大学案内・入学願書について

ハガキまたはお電話(FAX可)、ホームページから入試課へご請求ください。

種智院大学入試課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610

<http://www.shuchiin.ac.jp/>

### INFORMATION

種智院大学同窓会では、会員の皆様の個人情報保護に努めております。ただし今後とも従来どおり種智院大学・学校法人真言宗京都学園から各種案内郵送の申し出があれば、会員の皆様へご案内文等を送付することがあります。ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。